

<p>五湖の郷 事業所長 これから「五湖の郷」のスタッフ丸となってより良い活動をしていきます。</p> <p>今川 政之</p>	<p>デイサービスセンター 五湖の郷 和気あいあいとした雰囲気の中で、心温まるサービスを提供していきます。</p> <p>田辺 瞳 藤井 浩一 中畑 奈々江 佐々木 裕子 岡本 英克</p>
<p>村上由美子 金深 孝子 岡田由美子</p>	<p>特別養護老人ホーム五湖の郷 たくさんの方の入居者の方に囲まれ地域の特性を生かした取り組みを目指します。</p> <p>渡辺 純子 中川 悟 森井 英信 滝本 義浩</p>
<p>十人十色、一人ひとりの色をおりまぜて活動します！</p>	
<p>奥本 麻衣</p>	<p>唐永麻美子</p>
<p>吉村 妙子 浜川 真依 森 泰奈 松本 和也 前 じゅか 濱岸 美穂 中田 恵 木村 郁子</p>	<p>田中 静枝 坂本 房枝 三宅 喜久夫 島中 幸子 桑島 瑠美子 岡本 美和 知場 加代子 尾田 幸子</p>
<p>障がい者ケア ホーム五湖の郷 地域の中で暮らし、自立を目指してもらえようような支援をしています。</p> <p>下島 樹美 大畑 藍 上田 裕章 永友 美穂</p>	<p>障がい者日中活動 支援施設五湖の郷 「五湖の郷へ行くのが楽しみだ」と言ってもらえる活動を提供していきます。</p> <p>吉田 幸夫 河原 泉子</p>
<p>食事サービス事業 「美味しく」「笑顔になる」まごころのこもった食事を提供します。</p> <p>渡辺 妙織 澤 将之 村松 京子 山田 早苗 小堀 寿栄子 大上 哲夫 松田 久代</p>	<p>中西 三恵 清水 琴江 片山 真喜子</p>
<p align="center">五湖の郷 GOKONDATO</p>	



おたさ
社協だより

地域福祉活動計画

『みんなが支える幸せプラン』

Vol. **10**

2008年
6月23日発行

声をかたちに みんなで支える幸せプラン

このたび、若狭町社会福祉協議会では福祉関係者や一般公募させていただいた方々で構成された策定委員さんにご尽力いただき、「地域福祉活動計画」を策定しました。この計画書は『みんなで支える幸せプラン』と愛称がつけられ、今後若狭町の地域福祉を推進していくうえでの活動（行動）計画書として広く活用していきます。

この「地域福祉活動計画」は、町が平成18年3月に策定した「若狭町地域福祉計画」の内容や理念、考え方をもとに、社会福祉協議会と地域住民のみならず、また福祉関係機関などが協力し合い、個人や家庭が直面している生活課題や地域全体の問題解決に向けた取組みをまとめたものです。

この計画書の概要を次にまとめてみました。

なお、この計画書については各集落の福祉委員さんや区長さん、地域の民生委員さんにお配りしていますのでぜひ一度ご覧下さい。

計画の基本理念と5つの基本目標

計画の基本理念
みんなが支え合い、すべての人が幸せを感じられる、心地よい地域づくり

住民相互による

● 集落助け合いの充実

集落を単位とする小地域での助け合い活動を再認識し、地域におけるコミュニケーションの機会を増やし、お互いを理解しあうことで困りごとや悩みごとの解決につなげていきます。

ボランティア活動等

● 福祉意識の向上

子どもの頃からボランティア活動や福祉活動への関わりを持ってもらい、福祉に対する意識を高めてもらうことで、誰もが積極的に福祉活動に参画する環境づくりにつなげていきます。

● 福祉交通体系の強化

既存の交通体系を活かしつつ、ボランティアや地域の支え合い活動のもとに、福祉交通体系の充実につなげていきます。

若狭町社協がこの計画でめざすものは、一人ひとりでは不可能なことで、住民が同じ思いのもと協力し、行動することで、新たな地域福祉活動が生まれ、薄れつつある地域のつながりを再び復活させていくことです。その思いをこの基本理念にあらわしています。

● 介護保険事業等 介護サービスの利用促進

介護保険事業を中心とした介護サービスの仕組みを、住民の方々に広く理解してもらい、サービスが必要とされている方やそのまわりの方への支援につなげていきます。

● 要援護者及び 福祉団体への支援

支援を必要とされている方に、スポット（点）的ではなく、さまざまな支援やサービスをつなぎあわせ、大きな面をつくりながら、安心して暮らせる支援体制づくりへとつなげていきます。

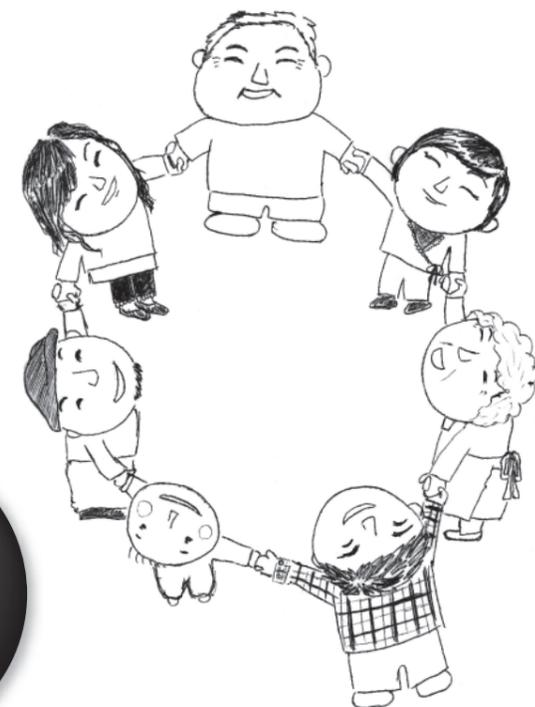
今年度の主な取組み

計画書では5つの基本目標に基づきそれぞれの取組みの方針や、取組みの具体的な内容をあげています。その中より今年度実施していく取組みの一部をご紹介します。

世代間交流の促進

世代間交流の実態調査

地域の中での助け合い、支え合いの原点は、日頃の住民同士のコミュニケーションから生まれることが多いのではないのでしょうか。そこで従来は頻繁に行われていた世代などの枠組みを超えた交流が、現在どれくらい実施され、またそれらの交流をどのようにとらえているかなど、その実態をあきらかにし、現在の生活環境に適した世代間交流（コミュニケーションの場）を考えていきます。



今年度は
こんな取組み
を行います！

福祉制度や介護サービス に関する情報提供

各懇談会の実施

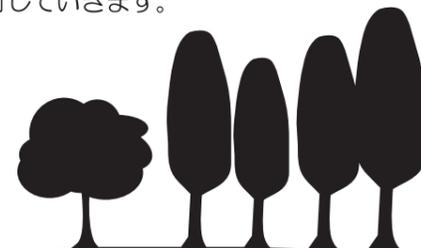
年々複雑になる福祉制度や福祉施設の内容を理解することは、大変難しいのではないのでしょうか。そこで、懇談会など情報交換ができる機会をつくり、福祉制度の内容や福祉施設・サービスについて説明させていただくほか、『広報社協だより』などさまざまな媒体を活用し、あらゆる福祉関係情報の提供を実施していきます。

各学校との福祉協力校 連絡会の設置

福祉協力校連絡会の実施

子どもの頃から広くボランティアや地域福祉活動に関わってもらうべく、社会福祉協議会が指定させていただいている福祉協力校との連絡会を設置します。そこで、子どもや先生など学校側のニーズをお聞きし、新たな福祉教育カリキュラムを検討していきます。

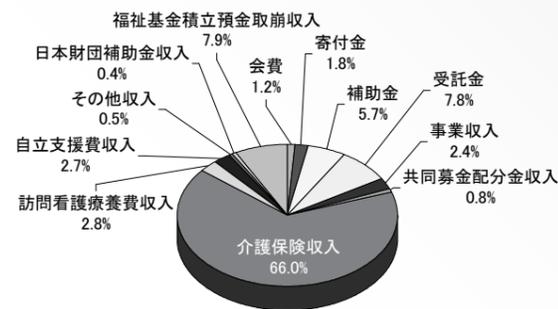
この計画書は平成20年度から平成22年度までの3カ年計画です。若狭町社協では、今後この計画書をもとに地域福祉の推進を住民のみならずといっしょに実施していきたいと考えています。ご協力をよろしくお願いいたします。



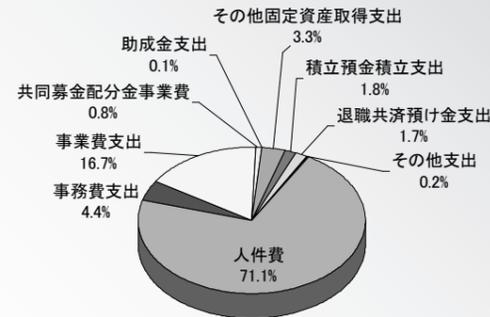
会計報告
決算と予算

平成19年度決算

(収入) 決算額: 459,914,870円



(支出) 決算額: 420,164,542円

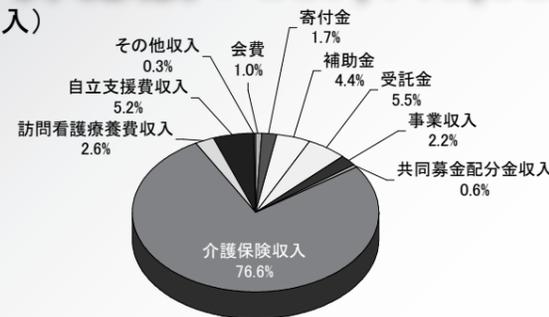


※収入の「福祉基金積立預金取崩収入」については、五湖の郷の準備資金として36,248,000円を取り崩し、車両や備品購入費に充てさせていただきました。

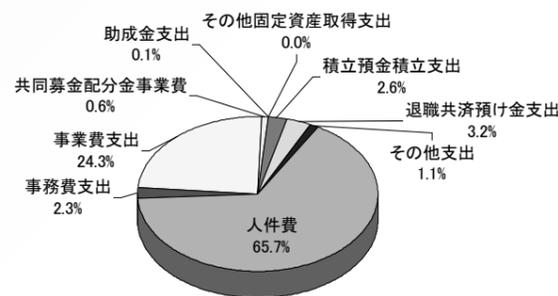
平成20年度予算

予算総額: 587,143,000円

(収入)



(支出) 予算額: 582,740,000円



※会計単位間・経理区分間繰入金・繰出金は含んでいません。

平成19年度
社協一般会費について

平成19年度、住民の皆様からお寄せいただきました一般会費は、4,051,000円(4,051世帯)でした。皆様の特段のご理解とご協力ありがとうございました。

なお、お寄せいただいた会費につきましては、全額を地域福祉事業(まごころ給食、サロン事業、ボランティア推進事業)に使わせていただきましたので、下記のとおり報告致します。

平成20年度につきましても、住民の皆様が若狭町の地域福祉を支えていることをご理解のもと、会費の納入に、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

【平成19年度実績】

☆まごころ給食 2,759食 ☆サロン事業 2,077名参加 ☆ボランティア推進事業 776名登録

～会費の使いみち～

運営費	2,475,411円	厨房用品、冷蔵庫や食器洗浄機のリース料、水道・電気代、ガス代 ガンリン代、保険料
材料費	965,650円	まごころ給食一食あたり350円
衛生管理費	436,872円	衛生管理講習、栄養管理システム保守、調理作業着 厨房内衛生管理業務委託料、調理員健康診断
事務費	173,067円	広報誌印刷代、コピー使用料、電話代

平成20年度
新組織体制

平成20年6月1日現在



全 体	
職 員	78名
臨 時	1名
パ ー ト	86名
合 計	165名

パレア若狭事業所	
職 員	22名
臨 時	1名
パ ー ト	28名
計	51名

いずみ事業所	
職 員	22名
臨 時	0名
パ ー ト	40名
計	62名

五湖の郷事業所	
職 員	27名
臨 時	0名
パ ー ト	18名
計	45名

パレア若狭事業所

■地域福祉事業

(職員)木下 健 (臨時)宮本 孝司 (パート)堂本 優・山崎 清彦・山下 康夫

■生活支援ハウス・リラクゼーション施設

(職員)山本 真輔 (パート)岡本 幸江・伊東 一宇・藤井 弘・山本 文雄

■食事サービス事業

(職員)河村 正代・山本まゆみ・仲上 周吾 (パート)澤 芳子・清水 円華・島津美喜子・高橋 久子

■デイサービスセンターパレア若狭

(職員)加藤 寿一・佐藤真由美・田中 英里・里田 真美・北川 舞・橋本 貴文・水江 英子・中村 恵美 (パート)細川夕紀子・宇野美津江・川端 順子・酒井 純子・吉村 久枝・杉谷 義弘・山田 洋子 杉 和子・中川とし子・竹内 笑子

■デイサービスセンターやすらぎ

(職員)田上 紀子・田中 恭子・藤井 祐太・信澤 聖子 (パート)井上 綾子・保志 友紀・山本 光子・上田 文恵・山本 瑞穂

■居宅介護支援事業所パレア若狭

(職員)渡辺 初子・西田 久恵・山野真由美・藤間 直子・瀬戸 如 (パート)吉田子工子・和多田真砂恵

いずみ事業所

■地域福祉事業

(職員)内藤 利博 (パート)青池 重孝・前 正雄

■食事サービス事業

(職員)深川 貴司 (パート)原田みのり・青池 孝子・池上 民恵

■ホームヘルプサービスいずみ

(職員)橋本 朋美・岡田 恵美・中村 麻美・柘原 優江・青池 智子 (パート)村松久美恵・澤 朋子・前 久美子・澤 美保・山本 和絵・竹内 洋子・桜本 信子・中村きよみ 桧鼻ふじよ・藤内いよ子・藤本 照美・宇敷しのぶ・世儀 純子・田辺 安代・玉村 美里 西村由紀子・坪内 朝美・平尾智恵子・川畑 潤子・鳥居 順子・前 好栄

■訪問入浴介護事業所

(職員)榎本三恵子 (パート)河合 英子・辻井 明子・吉村 節子・宮川 綾美・中野紀代美

■デイサービスセンターいずみ

(職員)長谷 早苗・小野 勝代・西川 千夏・勢馬 健太・野頭由美子・田辺 美和・清水 啓二・米澤 衣里 (パート)山口 和子・大谷 朋子・高畑 清美・村上 敏子・吉田さよ子・上下 良香・小堀 朋子・江戸 智香 鈴木三枝子

■訪問看護ステーション美方

(職員)藪ノ内洋子・岡垣 泰子・井上 美佳・松村美津恵・田辺 寿直・下島 樹美

五湖の郷事業所

■食事サービス事業

(職員)山田 早苗・小堀寿美子・大上 哲夫 (パート)松田 久代・中西 三恵・清水 琴江・片山真喜子

■デイサービスセンター五湖の郷

(職員)田辺 瞳・藤井 浩一・中畑奈々江・佐々木裕子・岡本 英克 (パート)村上由美子・金深 孝子・岡田由美子

■特別養護老人ホーム五湖の郷

(職員)渡辺 純子・濱岸 美恵・中田 恵・滝本 義浩・中川 悟・奥本 麻衣・富永麻美子・吉村 妙子 浜川 真依・森 泰奈・森井 英信・松本 和也・前 さやか (パート)知場加代子・田中 静枝・坂本 房枝・三宅喜久夫・富中 幸子・桑島瑠美子・岡本 美和 木村 郁子・尾田さよ子

■障がい者ケアホーム五湖の郷・地域福祉事業

(職員)大畑 藍・上田 裕章 (パート)永友 美穂

■障がい者日中活動支援施設五湖の郷

(職員)吉田 幸夫・河原 晃子・渡辺 抄織・澤 将之 (パート)村松 京子



五湖の郷を紹介します

平成20年4月より、若狭町地域福祉推進拠点施設「五湖の郷」が開所しました。

開所から3ヶ月が過ぎた、現在の様子や取り組みについて紹介します。

五湖の郷が行うサービスは①介護サービス②高齢者福祉サービス③障がい者福祉サービス④地域福祉サービスとなっています。各サービスにおいては、ボランティアの方々に、送迎や、施設案内、清掃・庭木の剪定、配食サービス、着脱介助、食事の準備・配膳、畑作業といった場面でご協力をいただいております。

現在52名のボランティア登録をいただいております。今後さらに活動をふくらませていきたいと考えています。また、介護予防サービスにも重点を置いており、講師の方をお招きして、地域の方に参加していただけるような体操やレクリエーションを計画しています。これから、さまざまな行事を取り入れて、より良い活動を目指していきます。今後とも「五湖の郷」の活動にご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

■特別養護老人ホーム

すべての居室が個室になっています。ユニットは大きく分けて4つあり、すいげつ、くぐし、すが、ひるがといった三方五湖の名前が付いています。ユニットごとにそれぞれの



企画が用意されており、天気の良い日には入居者の方々と一緒に外で食事をとったり、花壇での野菜作りや

散歩など、1人ひとりの生活リズムを大切にしています。朝・昼・夕と各ユニットで炊いたご飯を、自宅で使用していた愛着のあるお茶碗・箸で食べていただき、家庭的な雰囲気作りを心がけています。

■高齢者 デイサービス

新しい環境の中でスタッフ一同、心機一転で取り組んでいます。ここでは、家族のように和気あいあいと過ごしていただき、木のぬくもりの中でホッとしてもらえらるような「癒し」のデイサービスを心がけています。



■障がい者デイサービス・ケアホーム

日中活動の場であるデイサービスと、活動後に帰る生活の場（ケアホーム）があります。デイサービスでは、散歩や調理、室内でのレクリエーションなどを行っています。また、ケアホームでは生活をする上での決まり事や、今後の過ごし方についての話し合いをしています。これからは1人ひとりに合った活動や作業を取り入れ、たくさんの時間を利用者の方々と共有していきたいと考えています。



福祉協力校だより 第3回

今回は、平成18年度～20年度までの3年間、指定校として協力いただいております、気山小学校の活動を紹介します。

気山小学校

気山小学校では、子どもたちが、いきいきとした学校生活を送れるように教育活動のいろいろな場面で人権教育を推進しています。

あいさつ名人

児童会では、自分たちの学校をよりよくしていくと、特に人権に関してはみんなが仲良く明るく過ごすために昨年度も『気山っ子なかよしプラン』の中にあいさつ運動を取り入れています。昨年度は5月と6月に1週間ずつ『あいさつカード』を作成し、友達、家族、地域の人に一日を振り返りどのくらいの人たちにあいさつができたかを自己採点で付けていき7月に投票で『あいさつ名人』を選び表彰しました。

下の写真は、あいさつ名人表彰であいさつ名人に選ばれた3人の子どもたちです。

児童からは「地域の人や友達にあいさつができてうれしかったです」、「あいさつをするといっしょにいるんだよ、仲よしだよ、みたいな気持ちになれる」などの感想があり、学校へ訪問した際も笑顔で元気よく出迎えてくれました。

おめでとう！ あいさつ名人



自助具体験しました！

昨年12月5日には、人権週間にちなんで介護講座を開催し、お箸の自助具体験をしました。介護実習普及センターから講師の方を招き『もし利き手が使えなかったら…』ということ想定して普通のお箸と自助具のお箸で豆をつまんで比べてみました。「軽くて持ちやすい」、「ピンセットのようになってつまみやすい」、「すべりにくい」など、自助具の使いやすさを体験しました。

この講座で障がいがある人、ない人に関わらず誰でも不自由なく暮らせるためには、どんな工夫が必要かを考える次へのステップになったのではないかと思います。

その他にも、嶺南東養護学校との交流学习や、低学年と高学年に分かれて“いじめ”や“仲間はずれ”について考える『なかよし集会』を開いたり、様々な活動を展開しています。

気山小学校

所在地：若狭町気山310-9-1
児童数：69名(男35名 女34名)

3分でわかる介護 Vol.3

3分でわかる介護は、できるだけ家庭での介護負担を軽減できればと思いシリーズ化しています。

衣類編

1日をベッドで過ごされる方や手足の拘縮（関節の動きが悪くなること）がひどくなかなか衣類の交換を家庭でするのが難しいと思われる方、そんな方へのワンポイントアドバイスです。

右左どちらかが麻痺をして動かしにくい方

着衣する時は、動かしにくい方（^{まひ}麻痺側）から袖を通して下さい。
脱衣する時は、その反対で動かしやすい方（麻痺のない方）から脱ぎます。

両手が拘縮されている方

かぶり物と前合わせの衣類について説明します。

かぶり物

片手ずつ袖を通して最後に頭からかぶってもらうと両手に負担がなくてかぶることができます。



（その際できるだけ頭は下に向けてもらうと良いです）

【悪い例】

どちらか片方の手→頭→もう片方の手の順にすると、最後の手を通すのが大変になり、本人にも負担がかかります。

前合わせ

どちらか片方の手を通してもう一方の手は肩の上まで服を持ち上げてから手を通して下さい。



【悪い例】

肩まで服を持ち上げず下で手を通すと、服を無理にひっぱることになり拘縮している手に負担がかかります。

ポイント かぶり物の衣類より、前合わせの衣類のほうが本人も着やすく、介護負担も軽減されます。



できることは、できるだけ本人にさせていただくのが理想の介護ではないでしょうか。ちょっとした工夫により、今まで手伝ってもらっていたことが、一人でできるようになります。多少時間がかかってもリハビリだという思いで、一度一人でチャレンジしていただけるといいですね。そこでワンポイント。

上着類

ボタンを留める行為は、ボタンホールが小さくなかなか難しいものですが、ボタン箇所マジックテープをつけると、自分一人でもスムーズに着脱することができます。

ズボン類

寝たきりになりがちの方には両サイドがファスナーになっていて一回一回腰を上げて脱がなくてもよいズボンなどもあります。

（オムツ交換の時に便利です。）

ポイント マジックテープ等がある衣類は、留めてからネットに入れて洗濯して下さい。テープの箇所にゴミがつくと、くっつきが悪くなります。

まちのボランティアさん紹介 Volunteer

今回よりこのコーナーは、私たちの地域で活躍されているボランティアさんを紹介することになりました。みなさんの身近で活動されているボランティアさんをたくさん紹介していきます。今回は、見守りボランティアと野木地区でいろんな活動されているボランティアさんをご紹介します。

清水 一枝さん

みそみ小学校の見守り隊として、小学生の登下校を支えていただいております。

《清水さんのお話》

登下校の見守りをさせてもらって4年目になります。

朝は子ども達が安全に登校できますように、下校の時は、決まった時間に無事帰宅できますようにと祈る気持ちで見守りを続けています。毎朝子ども達と出会い「おはようございます」と明るい挨拶を交わすことで私も元気なパワーを頂いております。そして私の生きがいにもなっています。

はじめは見守り隊の腕章をして立っていましたが、車から、遠くにいても見えて子ども達が通るときにスピードを落としてくれるように昨年黄色のベストを着て立つようにしました。



最近、学校の行き帰りに子ども達が犠牲になる悲しい事件が起きています。私たちボランティアの見守り活動が不審者に対する抑止力になればと思います。そして、みそみ小学校の子ども達が元気に登下校できますようにこれからも見守りボランティアを続けて行きたいと思っています。



辻本 靖さん

上中地域（野木地区）を中心に、草取りや公衆トイレ等の清掃活動、運転ボランティアなど様々なボランティア活動をされています。

《辻本さんのお話》

私がボランティアを始めようと思ったきっかけは昔、婦人会及び交通安全協会の役員をしていた時に行っていた、国道27号線・303号線の空き缶拾いです。身近なところから町を美しくしようと思い、ボランティアを続けておりました。

現在は、あじさいマラソンで使用する県道(玉置から兼田間)や駐車場の草取りを行っております。



これは、他県から多くの方々が来られますので美しい若狭を楽しんで頂きたいと思ひ、第1回からさせて頂いております。また、自分にできることなら何でもしよう、近所のお年寄りを病院まで車で送迎したり、清掃活動をしたりしております。

これからも明るく元気に続けて行きたいと思っています。

デイサービス掲示板

食べてビックリたまたま箱

(デイサービスセンター五湖の郷)

デイサービスセンター五湖の郷では、創作活動の一環として午後のレクリエーションの時間におやつ作りを企画し、利用者の方々と一緒に「手作りおやつ」で楽しい時間を過ごしています。

今回、挑戦したのはベビーカステラ作りです。たこ焼き機を利用して、カステラの中にはフルーツを入れたり、昨年、デイサービスセンター西田で作った



梅シロップを混ぜ込んだりして

「特製ぜいたくベビーカステラ」ができあがりました。

みなさん、カステラをひっくり返す作業も積極的に参加してください、最初はぎこちなかった手も、今ではプロ並みの手つきになりました。味の方は・・・もちろん大好評！「おいしい」と笑顔でたくさん召し上がられました。

今後は、西田地域の特産物である梅を使った『梅シロップ作り』を予定しています。おいしい梅シロップができあがりますように・・・。

やさしさをありがとうございました

平成20年2月1日から平成20年5月31日までに社会福祉事業に役立てて下さいと、下記の方々よりご寄付をいただきました。(敬称略・順不同)

福祉基金

鳥 浜	今川 康博	100,000円
下吉田	辻井つね子	300,000円
藤 井	古澤 啓一	300,000円
向 笠	奥村 義信	100,000円
能登野	鳥居 直彦	200,000円
市 場	桜本 正規	300,000円
武 生	山田 儀一	200,000円
脇 袋	竹内 政治	100,000円
関	小林 吉三	100,000円
武 生	福田 成明	100,000円
新 道	松阪 昇	200,000円
千葉県	高橋 正市	100,000円
上 野	常田 義治	100,000円

成願寺	蓮生寺ターナ献金	10,000円
佐 古	常德寺仏教婦人会	25,000円
	「ゼロからの風」上映実行委員会	
	代表 清水 正富	50,000円
匿 名		2,850円
匿 名		5,000円
匿 名		200,000円



瓜生小学校 JRC

JRC活動で集まった募金を、今春卒業したJRC代表の6年生2名が、車イス等の購入費用の一部として使ってほしいと32,215円ご寄付いただきました。

物品預託

若狭消防署上中分署

上中分署の職員のみなさんが、手づくりで作った『孫の手』55本を寄贈下さいました。デイサービスをはじめ利用者の方々にお渡しし、大変喜んでいただきました。



藤 井	古澤 啓一
相 田	藤原 平夫
鳥 浜	日比 武
脇 袋	中塚 なみ

おむつ
食材
防水シート
防水パンツ
おむつ

すまいる会
三方女性の会
西部地区女性の会
若狭町赤十字奉仕団
匿 名

タオル
タオル
タオル
タオル他
手作り枕
おじゃみ
車イス

(有)トミカ

ハガキ

匿 名

預託・寄付いただいた物品は、地域や若狭町社会福祉協議会にて有効に使わせていただきます。上記以外にも多くの方々より使用済み切手・ロータスクーポン等のご寄付をいただきました。

Information ~情報・お知らせ~

お譲りください

より良い活動をするために



このたび、五湖の郷に障がい者デイサービスセンターができました。利用者の方々と過ごす日中の活動の中で、ジグソーパズルやお手玉などのおもちゃを使うことがあります。ゲームを始め、機能訓練につながる手遊びの充実を図るため、ご家庭で利用しなくなったパズルや数人で楽しめるおもちゃ(黒ひげ危機一髪)などがありましたら、ぜひお譲りください。

「使えるかどうか分からないけど」という疑問や「どんなものが必要か」などのご質問がありましたら、ご連絡下さい。

みなさまのご協力をお待ちいたしております。

障がい者デイサービスセンター
担当：吉田 (TEL: 0770-46-1212)

おもしろ写真募集します!

社協だよりでは表紙や裏表紙に使用する写真を募集しています。次回号より、みなさまから寄せられた偶然撮れたおもしろ写真や、きれいな写真・かわいい写真など、いろんなジャンルの写真を掲載していきます。応募方法は以下の通りです。

【応募方法】
応募者の住所・氏名・年齢と作品名を記入いただき、写真かデータをお送り下さい。
【送り先・お問合せ先】
〒919-1316 若狭町井崎40-80地域福祉センター泉内 若狭町社会福祉協議会 広報係
Tel: 0770-45-2837 E-mail: k-chiiki@w-shakyo.or.jp



※ご応募いただいた生写真は返却できませんのでご了承下さい。